



# べにまる

「輝きを未来に」

○自ら学ぶ子 ○思いやりのある子

○最後までやりぬく子 ○体をきたえる子

令和5年11月30日

発行責任者 三和 史朗

## 寄り添うということ

校長 三和 史朗

「子どもの気持ちに寄り添った関わりを・・・」とよく言われます。では、寄り添うということは、どういうことなのでしょう。私は、端的に言うと「子どもの今の気持ちに共感し、受け入れる」ということだと思っています。

子どもが「～されて、とても嫌だったんだ」と訴えてきたら、まず「そうか嫌だったんだね」と子どもの言葉を繰り返して、声にします。すると、子どもは『自分の気持ちをわかってくれた』と感じます。

学校では、多くの子どもたちが一緒に生活していますから、些細なトラブルは日常茶飯事です。一人一人に自我や、個性があるのですから、ぶつかり合うことはむしろ当然のことなのです。自分の考えを伝え、相手の考えを聞き、言い争いになりながらも着地点を見出して解決していく。そうした経験が社会に出た時に役に立ちます。

ただ、自分の気持ちを言葉や態度に出して表現することが苦手な子どももいます。私たち大人は、寄り添う（共感してあげる）姿勢を常に示すことで、子どもが『自分の気持ちを表現してもいいんだ』と思えるようにしていきたいものです。

## 12月行事予定

1日(金)	臨時休業	15日(金)	教育相談 読み聞かせ(朝)
5日(火)	フッ化物洗口		租税教室(6年)
6日(水)	歌声朝会	18日(月)	読み聞かせ(放)
7日(木)	英検 ESG(6年)	19日(火)	フッ化物洗口
11日(月)	教育相談	20日(水)	クラブ
12日(火)	教育相談	21日(木)	終業式 5時間授業
13日(水)	教育相談	22日(金)	冬季休業(~1/15)
14日(木)	教育相談	29日(金)	年末休業

## 福祉体験授業

11月1日（水）留寿都高校で行われた盲導犬体験に3年生と4年生も参加させていただきました。盲導犬についての説明を聞いた後、盲導犬と触れ合ったり、アイマスクをして白杖を使って歩いたり、盲導犬と一緒に歩く体験をしたりしました。特に目隠しをした状態で歩く経験は、目が見えない状態で歩く怖さや大変さを実感することができたようでした。



## 大豆の殻落とし・きな粉作り

1年生が11月1日（水）に留寿都高校の畑で、種まきをして育てた大豆の殻落としを、乾燥させた大豆からのきな粉作りを11月8日（水）に行いました。

唐竿を使って殻を割り、唐箕を使って大豆の選別を行いました。唐竿は先端の板を回すのに苦労している様子でしたが、ボランティアの方々の協力もあってたくさん大豆を収穫することができました。きな粉作りは石臼で挽いて行いました。こちら重い石臼を回すのは大変でしたが、みんなで頑張りました。



## でんぷん作り・うどん作り

3年生は11月1日（水）にジャガイモからのでんぷん作り、11月15日（水）にでんぷんからのうどん作りを行いました。地域おこし協力隊の小野寺さんの指導で、でんぷん100%のうどんを作りました。お湯を混ぜて生地をこねているうちにしっかりとした麺ができあがり、ゆでると半透明のうどんができあがりました。少し硬めの麺でしたが、おいしく食べることができました。

## 薬物乱用防止教室

11月24日（金）に5・6年生を対象に薬物乱用防止教室を行いました。アルコールや喫煙の害や禁止薬物についてのお話を倶知安警察署の方から伺いました。将来的にも禁止薬物には手を出さないようにしてほしいと思います。

